

# 令和3年度 夏のセミナー

## 開会行事

- 1 校長挨拶
- 2 研究概要説明
- 3 諸連絡

秋田大学教育文化学部附属特別支援学校



夏のセミナーを開催しました。県内外から90名以上の方々に御参加いただきました。

本セミナーは、Zoomを用いてオンラインで行い、「今年度の研究の共有」「意見交換」「講演」という内容で行いました。

意見交換は、「授業づくりWG」「オリジナルマップ活用推進WG」「地域とつながるWG」の3つに分かれて行いました。40分という短い時間でしたが、参加者からの情報提供や実践例の紹介、そして、各WGのテーマに沿った意見交換を行いました。

各WGの意見交換の内容を振り返ると、「学びを積み重ねるために目に見える形の記録を残していくこと」「子どもたちが能動的に行う記録は、子どもたち自身がその価値に気付くこと」、「学びは学校の中だけでなくあらゆる場所で行っていく、そのような積み重ねであること」「マップづくりを行う主体は→子ども、教師、地域や社会教育の方など、複合的に行うことでメリットがある」など、3つのWGの内容が重なり合う部分が多く見られました。

講演は、東京学芸大学名誉教授の菅野敦先生に「生涯学習力を高めるために学校で積み重ねる学びについて」という演題でお話をいただきました。

「生涯学習を見据えた学び」と「学習指導要領を基にした学び」の結び付き、生涯発達・地域生活支援に関する4領域、主体的に学習に向かう態度や主体性に向かうステップなど、本校の研究推進に関わる様々な御示唆を頂戴いたしました。

今回の夏のセミナーでいただいた意見やアドバイス等を整理し、今後の研究推進と日々の授業づくりに生かしていきたいと思えます。

実践の成果は、1月29日の公開研究協議会で報告する予定です。

御参加、御協力いただいた皆様、ありがとうございました。

夏のセミナーの記録として、グラフィックレコーダーの皆様にご協力いただきました。意見交換、講演の内容のグラフィックレコーディング（通称、グラレコ）を本校ホームページに掲載いたします。